

資料④：南城市の公共交通を考える
ワークショップについて

平成 28 年 12 月

南 城 市

1 ワークショップの概要

1.1 目的・位置づけ

- 「南城市の公共交通を考えるワークショップ」は、南城市のこれからの公共交通のあり方を示す南城市地域公共交通網形成計画の策定にあたり、市民の生の声を反映する場として、設置されました。

<網形成計画策定機関>

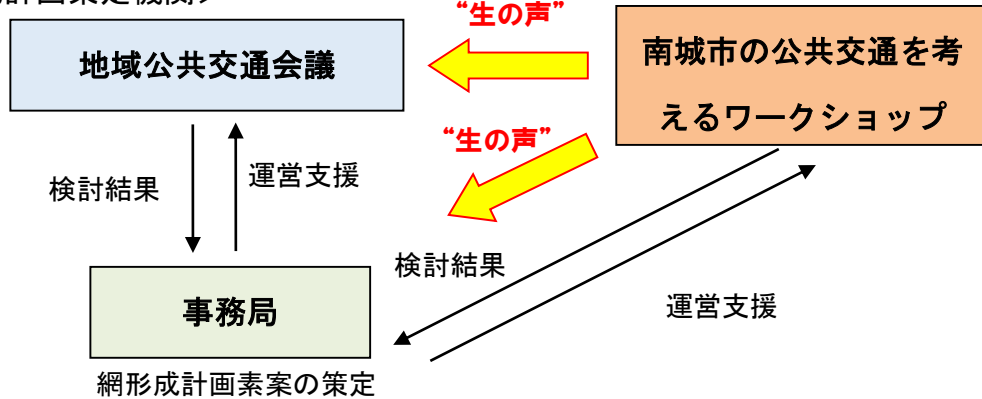


図-1.ワークショップの位置づけ

1.2 検討内容

- ワークショップは全4回開催しました。
- はじめに公共交通の問題点について考え、その後、公共交通の問題に伴う日常生活における問題、公共交通の役割と段階的に検討を行いました。
- 最終のアウトプットとして、「南城市公共交通アイデアマップ」を作成し、マップのテーマ、取組一覧、おすすめの取組、おすすめの取組の概要等を検討、整理しました。
- なお、ワークショップは4班に分かれて実施しました。

表 1.各ワークショップの実施概要

回数	目的	WS（ワークショップ）の内容
第1回 (9/25)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のまちづくりについて知る ・公共交通の現状を知り、役割を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・WSについての説明 ・新たなまちづくりの動向についての説明 ・公共交通の役割に関するグループワーク
第2回 (10/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における問題と公共交通の役割について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の役割に関するグループワーク
第3回 (11/20)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の公共交通を考える上で重視すべきことを整理する ・将来の公共交通について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例の紹介 ・公共交通網についてのグループワーク
第4回 (12/18)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針に沿った具体的な取組について考え、地図に展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南城市の公共交通の現状説明 ・南城市公共交通アイデアマップ作成のグループワーク

1.3 ワークショップの実施状況

●全4回のワークショップで延べ75人、1回あたり平均18.8人の方に参加していただきました。

表 2.各ワークショップへの参加状況

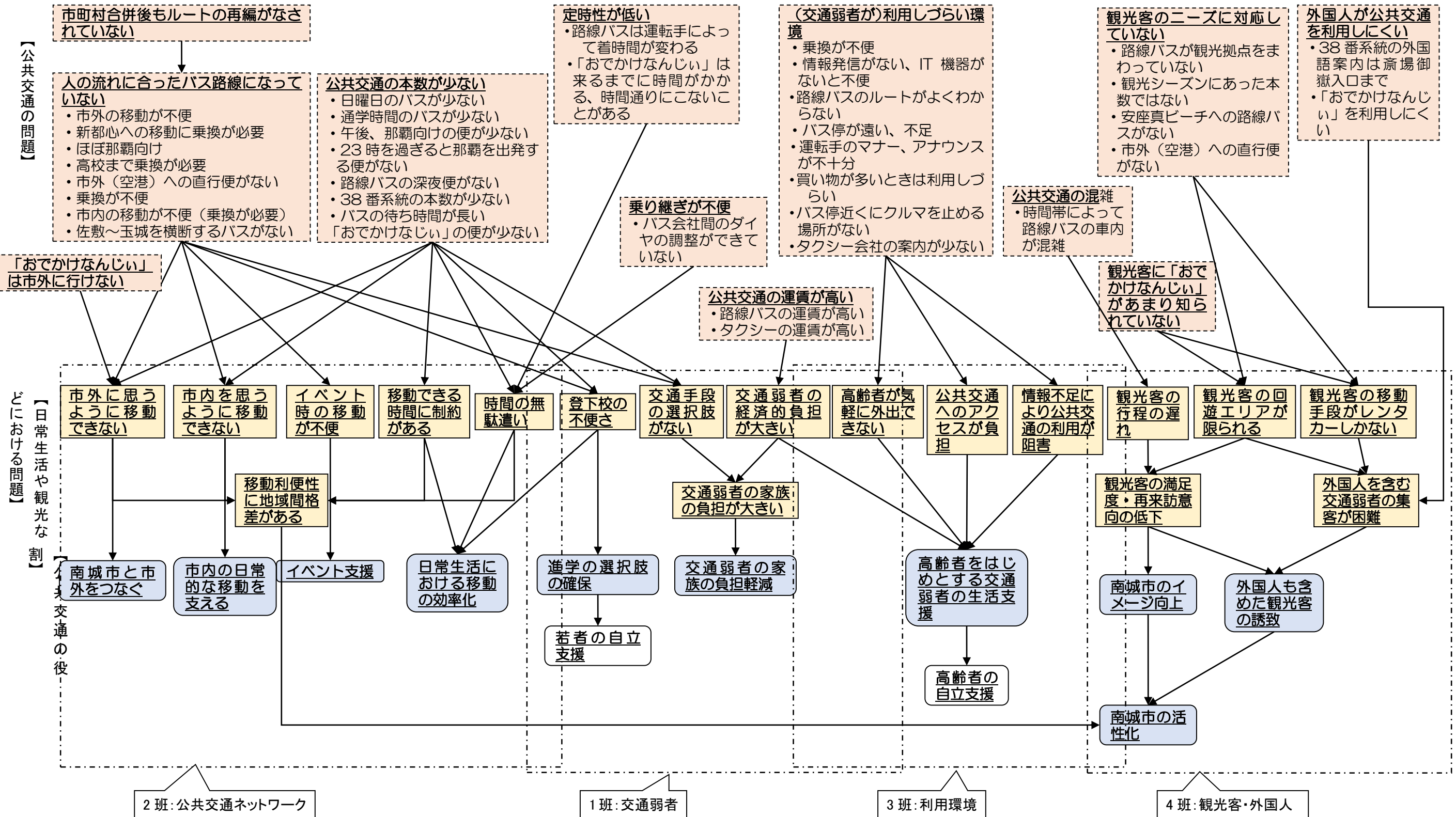
回	月日	時間	参加者数
第1回	9月25日(日)	13:30~16:00	22
第2回	10月16日(日)	13:00~15:30	21
第3回	11月20日(日)	13:00~15:30	14
第4回	12月18日(日)	13:00~16:30	18
計	—	—	75



図-2.ワークショップの実施状況

2 公共交通の問題点と役割等

●第1回～第3回ワークショップでのグループワークにより、下記のように「公共交通の問題」、「日常生活や観光における問題」、「公共交通の役割」が整理されました。



3 南城市公共交通アイデアマップについて

3.1 キーワード

●第3回ワークショップのグループワークにより、今後の南城市の公共交通網を考える上で、重要な考え方、キーワードを整理しました。

表 3. 南城市公共交通アイデアマップのキーワード

視点	1 班	2 班	3 班	4 班
交通弱者			高齢者、子ども	交通弱者の利便性
利便性		必要な時に対応できる 公共交通・利便さ		なんじいバスの活用
ネットワーク	利用頻度の高い施設 へのアクセス向上	南城市一周バス	市内循環	市街地とのアクセス
交通結節	公共交通となんじい の乗換利便性			ターミナル機能
定時性		定時運行・デマンドバス と路線バスの車両を増やす	定時速達性	
利用の しやすさ		気軽にお願いできて、ト ラブルがないように、対 応できる安心さ→乗りた くなる(交通網+対応サー ビス)		
運賃			低運賃	
公共交通の 利用促進	移動には公共交通を 利用・渋滞緩和			
情報提供	高齢者への情報提供		情報発信	交通機関の周知
採算性				公共交通の持続可能 性
取組み体制			市民・民間事業 者・行政の連携	

3.2 テーマ

●第4回ワークショップにおいて、「南城市公共交通アイデアマップ」のテーマを決めました。

表 4.南城市公共交通アイデアマップのテーマ

班名	テーマ
1 班	・公共交通を使えば、誰(足の悪い人も)でも、いつでも、どこへでも行ける
2、4 班	・気軽に乗れる公共交通
3 班	・中核地から発展する南城市
5 班【高校生】	・免許を持たない高校生がどこでも行ける公共交通

※第4回は、参加人数に班でバラつきがあったため、2班と4班をあわせた。
5班は高校生の班。



1 班



2、4 班



3 班



5 班【高校生】

図-3.ワークショップ各班の実施状況

3.3 提案された取組

(1)おすすめの取組と概要

●第4回ワークショップにおいて検討した取組み一覧から、アピールしたい取組みを各班で選択し、「取組内容」、「セールスポイント」(着目：どのような方のために、何のために)について検討しました。

表 5.おすすめの取組の概要

班名	取組名	内容	セールスポイント
1 班	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> •路線のルートや時刻表等の情報提供システム(電子掲示板・バスロケ等) •アテンドの設置(時刻表やルート、各種公共交通機関の乗り換えを案内する人) 	<ul style="list-style-type: none"> •情報を得ることが困難な人(高齢者等) •定時性が保たれる
	料金見直し	<ul style="list-style-type: none"> •免許返納の方のサービス •フリーパスの導入 	<ul style="list-style-type: none"> •交通弱者や免許返納者の経済的な負担を減らす •公共交通を使う人が増えることで、高齢者の事故抑制
	新しい交通システム	<ul style="list-style-type: none"> •隣接する市町村へのアクセス向上 •那覇新都心と那覇空港、中核地を結ぶ直行バス •利用目的別のデマンドバスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> •移動利便性の向上(市外の病院への通院者)
3 班	日常生活における移動の効率化策	<ul style="list-style-type: none"> •4 地区を循環する •ネットワークの強化(路線バスとデマンドバス、車、タクシー) •パーク&ライド(大型駐車場の活用) 	<ul style="list-style-type: none"> •市民のため •定時速達性の向上 •車から公共交通への転換の促進のため
	南城市の活性化	<ul style="list-style-type: none"> •バスターミナルを中心とした街づくり 待合環境の整備(コンビニ、商業施設、特にホームセンター) 教育機関の整備(高校、大学の設立) 	<ul style="list-style-type: none"> •待合環境の整備→市民、観光客向け •教育機関の整備→父母、学生向け •通学圏の拡大のため •観光振興のため •南城市の活性化のため •雇用創出のため
	南城市と市外をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> •南部東道路の整備(中核地から那覇空港直行バス) 	<ul style="list-style-type: none"> •観光客、市民向け •観光振興のため •渋滞緩和のため •移動時間短縮のため •南城市の活性化のため

表 6.おすすめの取組の概要

班名	取組名	内容	セールスポイント
3班	低料金	<ul style="list-style-type: none"> 1日乗車券 300円 学割(距離ごとの料金で50円~100円の料金設定) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民のため 1度の外出で色々な用事(病院、買い物、市役所等)を済ませたい。
	空港の設置	<ul style="list-style-type: none"> 空港の設置(久高島周辺?) →班内で、騒音の問題懸念の意見あり 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客や市民のため 観光振興・産業発展 南城市の活性化
2班 4班 合同	メインとサブのターミナル配置	<ul style="list-style-type: none"> メインとサブのターミナル設置(各々のターミナル間は、バスで結ぶ) レンタサイクルの配置 シュガーホール→定期的にイベント開催 南城市役所跡→企業誘致 安座真港→久高島とのアクセス向上 	<ul style="list-style-type: none"> 移動の不便な地域の集客効果
	空港直行バス	<ul style="list-style-type: none"> 那覇空港と南城市中核地を最短で結ぶバスの運行(30分間隔) 	<ul style="list-style-type: none"> 空港まで移動時間短縮(観光客や企業、市民向け) 車から公共交通の転換(市民の送迎なし) 通学時の移動利便性の向上。
	わかりやすい路線図案内板の設置	<ul style="list-style-type: none"> バスターミナルにわかりやすい路線図を設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎがスムーズに 移動の選択肢が増える(とくに観光客)
	運賃見直し(割引等)	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎの割引 フリーパスの導入 家族割 	<ul style="list-style-type: none"> お得感が増えることにより、公共交通の利用者拡大に(市民)
	運転手のマナーアップ	<ul style="list-style-type: none"> バス運転手のマナーアップ向上 	<ul style="list-style-type: none"> 運転手と地域の人とのコミュニケーションがうまれる 乗客の快適性が向上
	デマンドバスの協賛先の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 協賛先がデマンドバス利用者にサービス提供(割引等) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化 公共交通利用者が増加

表 7.おすすめの取組の概要

班名	取組名	内容	セールスポイント
5班 【高校生】	バスターミナルの 設備充実・駅を中心としたまちづくり	①ターミナル内に夜遅くまで勉強できるスペースをつくる。 ②学生や、高齢者が気軽に話し合いができる場所をつくる。 ③駅ビルの開発。バスターミナルを東京の駅ビルのようにする。 ④中核地にスポーツ複合施設・運動公園(特に屋内施設。バスケットコート、ダンススタジオ・テニスコート)。使用料は低価で設定して欲しい。	①・学生の教育支援 ・家庭への経済的負担を減らす(【勉強ができる環境＝塾】ではなくなる) ・学生の公共交通利用者の拡大 ②・幅広い世代でのコミュニケーションがうまれる場所ができる。 ・地域の活性化 ・経済的負担(少し話をするために飲食費がかかるのも学生にとって負担) ③・待合環境の整備 ・公共交通利用が増える。 ④・市民の健康増進 ・部活活動の支援 ・経済的負担が少なく ・南城市活性化
	待合環境の整備	・屋根付きバス停の設置(各地)	・路線バス利用者数が天候に左右されない ・快適性が上がる
	バス路線	①路線を増やす。(特に高校までの直行の路線が欲しい。) ②朝と夜の本数を増やす(学生の登下校の時間に合わせてバスの本数を増やす(0校時は7時40分開始) ③市内循環バス	①親の送迎の負担を軽減(向陽高校生も知念高校生も大半が親の送迎に頼っているので、公共交通を使うことにより、家族への負担を減らす。) ②学生の公共交通の転換 ③南城市民が市内どこにでも移動ができる。
	運賃の検討 (低料金)	・市外 - 市内間の運賃の見直し(乗り継ぎ割引や学生割等の検討)	・現在、学生が那覇市に行く際に経済的な負担が大きい(那覇市まで移動する際に出していいと思う料金最高500円) ・公共交通の利用者増加

1班 ハロウィンパピロ

【テーマ】
公共交通を使えば誰(足の悪い人も)でも
いつでもどこへでもいける

取組み一覧

- ・中核地と那覇新都心間、中核地と那覇空港間の直行バス
- ・各種公共交通をつなぐアテンドを設置
- ・近隣する市町村まで行ける新たなデマンドバス
- ・ターミナルの設置
- ・交通弱者からの視点での料金見直し(免許返納フリーパス)

おすすめの取組み


- ・アテンドの設置・料金見直し(対応サービス)
- ・隣接する市町村まで行ける新たなデマンドバス

アイデア実現で南城市はこう変わる！！

- 誰でも活動的にない健康長寿な街
- 活動拠点として住みたくなる街

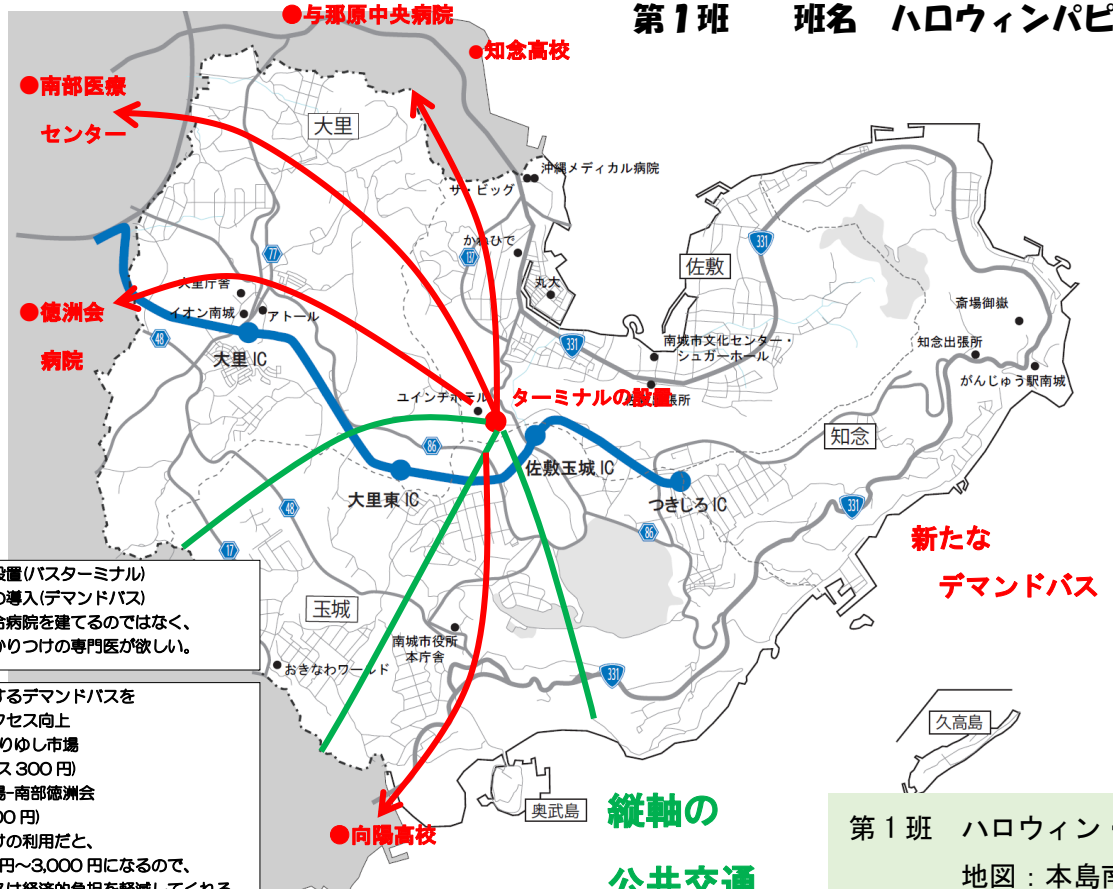
第1班 ハロウィン・パピロ
 取り纏め模造紙

第1班 班名 **ハロウィンパピロ**



第1班 ハロウィン・パピロ
 地図：本島南部地域

第1班 班名 **ハロウィンパピロ**



第1班 ハロウィン・パピロ
 地図：本島南部地域

・アテンドの設置(バスターミナル)

・フリーパスの導入(デマンドバス)

・中核地に総合病院を建てるのではなく、家近辺にかりつけの専門医が欲しい。

通院車を送迎するデマンドバスを

→病院へのアクセス向上

・つきしろ-かりゆし市場(デマンドバス 300円)

・かりゆし市場-南部徳洲会(タクシー600円)

→タクシーだけの利用だと、往復 2,500円~3,000円になるので、デマンドバスは経済的負担を軽減してくれる。

縦軸の公共交通

新たなデマンドバス

図-4.南城市公共交通アイデアマップ(1班)

第2・4班 美魔女・イケメンチーム & みなみんチーム

【テーマ】

気軽に乗れる公共交通

取組み一覧

<ネットワーク>

- ・南城市の周遊バス
- ・空港～南城市のバス
- ・バスターミナル～サブターミナルのバス(西回り、東回り)
- ・県道17号線沿いなど不便地域の路線の充実

<情報提供>

- ・多言語案内の充実、車内の音声案内
- ・わかりやすい路線図の案内板
- ・Wi-Fi環境の充実
- ・ネットスマホでのデマンドバスの予約

おすすめの取組み

- ①ハフバスターミナル、サブバスターミナル
- ②空港～南城市のバス
- ③わかりやすい路線図・案内板
- ④割引サービス

アイデア実現で南城市はこう変わる！！

人もまちも、もっと元気になる

<ターミナル・乗り継ぎ>

- ・商業施設等併設のバスターミナル
- ・メインとサブのターミナル配置(安座真、玉城庁舎跡など)
- ・レンタサイクルの設置

<割引>

- ・乗り継ぎ割引
- ・家族割り、フリーパス、1日パス
- ・デマンドバスの協賛を増やす

<その他>

- ・運転手のマナーアップ

第2班 美魔女・イケメングループ
第4班 みなみんグループ合同
取り纏め模造紙

第2・4班 班名 美魔女・イケメングループ



第2・4班 班名 美魔女・イケメングループ

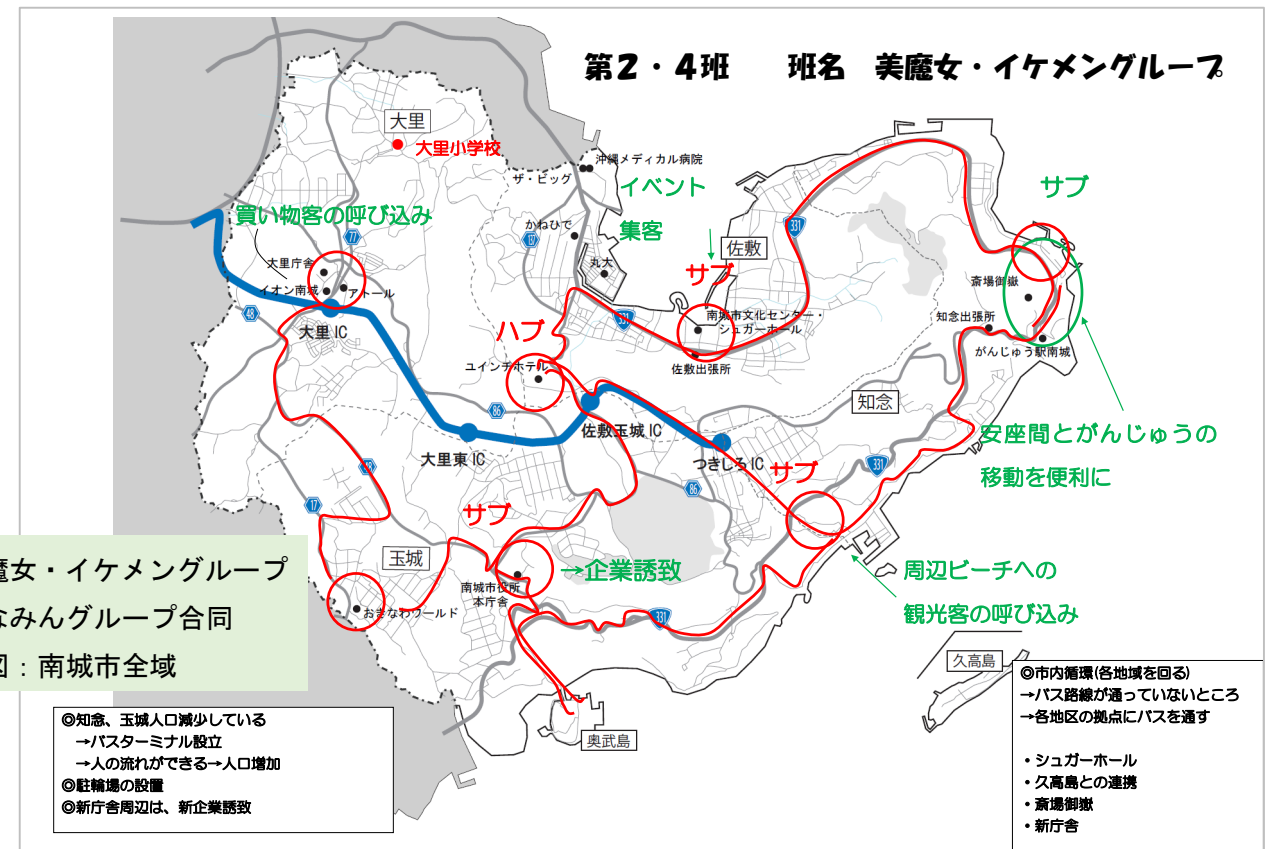


図-5.南城市公共交通アイデアマップ(2,4班)

第3班 なんじい

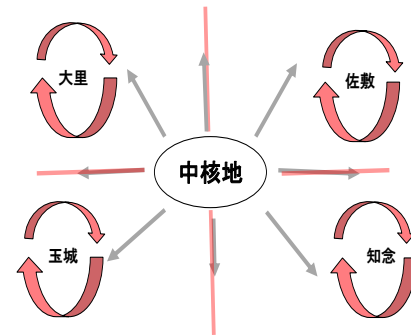
【テーマ】

中核地から発展する南城市

取組み一覧

◎日常生活における移動の高率化

- ・4地区を循環するバス
- ・ネットワークの強化(路線バス、デマンドバス、車、タクシー)
- ・パーク&ライド(大型駐車場の活用)



◎南城市の活性化

- ・バスターミナルを中心としたまちづくり

待合環境の整備

(コンビニ、商業施設、特にホームセンターはカインズがいい、映画館、公園、カラオケ、ボウリング場)

教育機関の整備(高校、大学の設立)専門学校だと介護がいい。

環境(新庁舎はソーラーパネルの設置。集めた電気は市民に安くで売る)

南城市の名物を作って、バスターミナルに出店(食べ物に人は弱いので、観光客や市民は集まる。南城市内の飲食店には協力してもらい、名物として売り出す)

◎南城市と市外をつなぐ

- ・南部東道路の整備(中核地から那覇空港直行バス)

アイデア実現で南城市はこう変わる！！

- ・人口増加
- ・コンパクトシティー(安心・安全な南城市)

第3班 なんじい

取り纏め模造紙

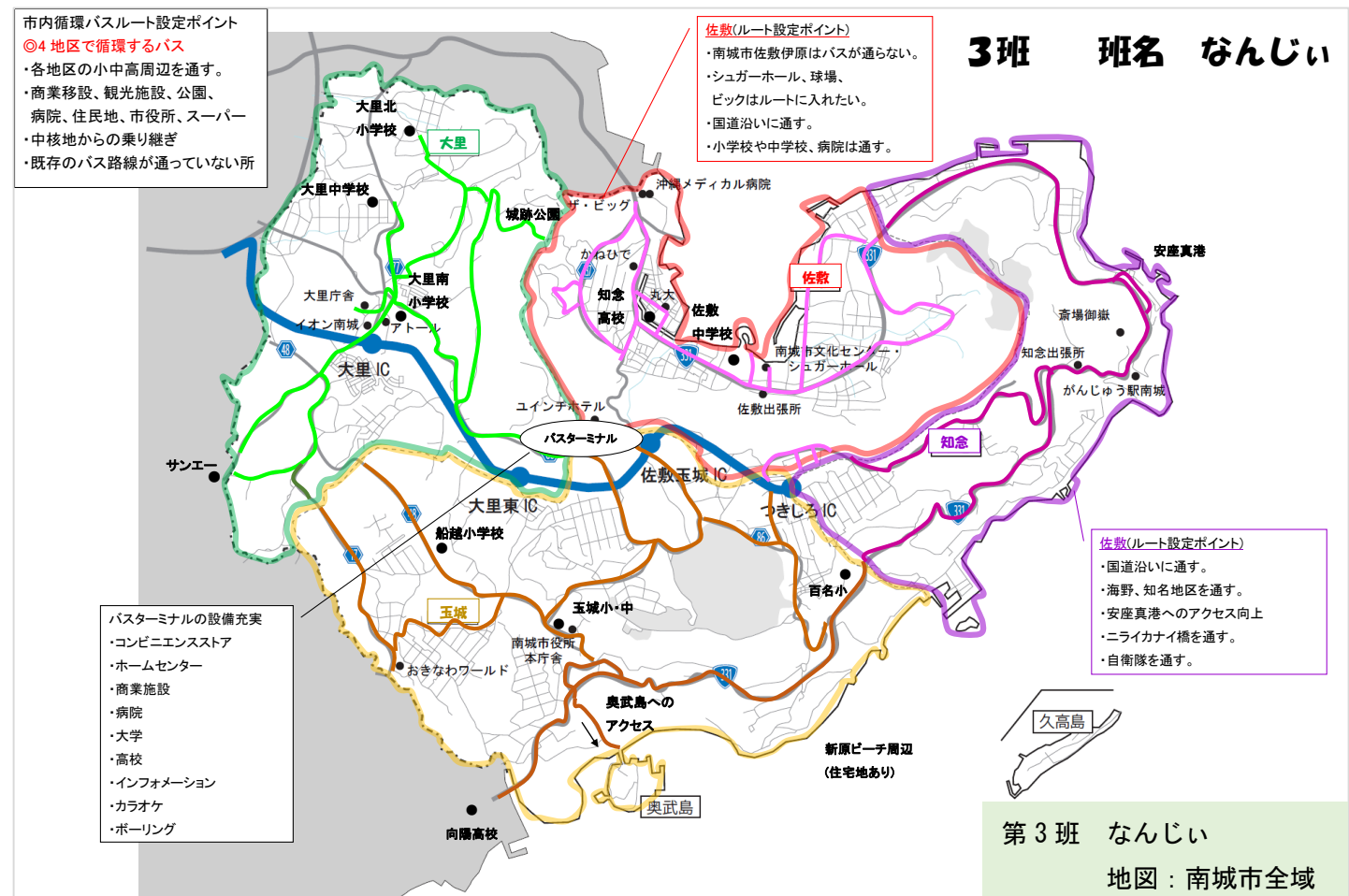
第3班 班名 なんじい



第3班 なんじい

地図: 本島南部地域

3班 班名 なんじい



第3班 なんじい

地図: 南城市全域

図-6.南城市公共交通アイデアマップ(3班)

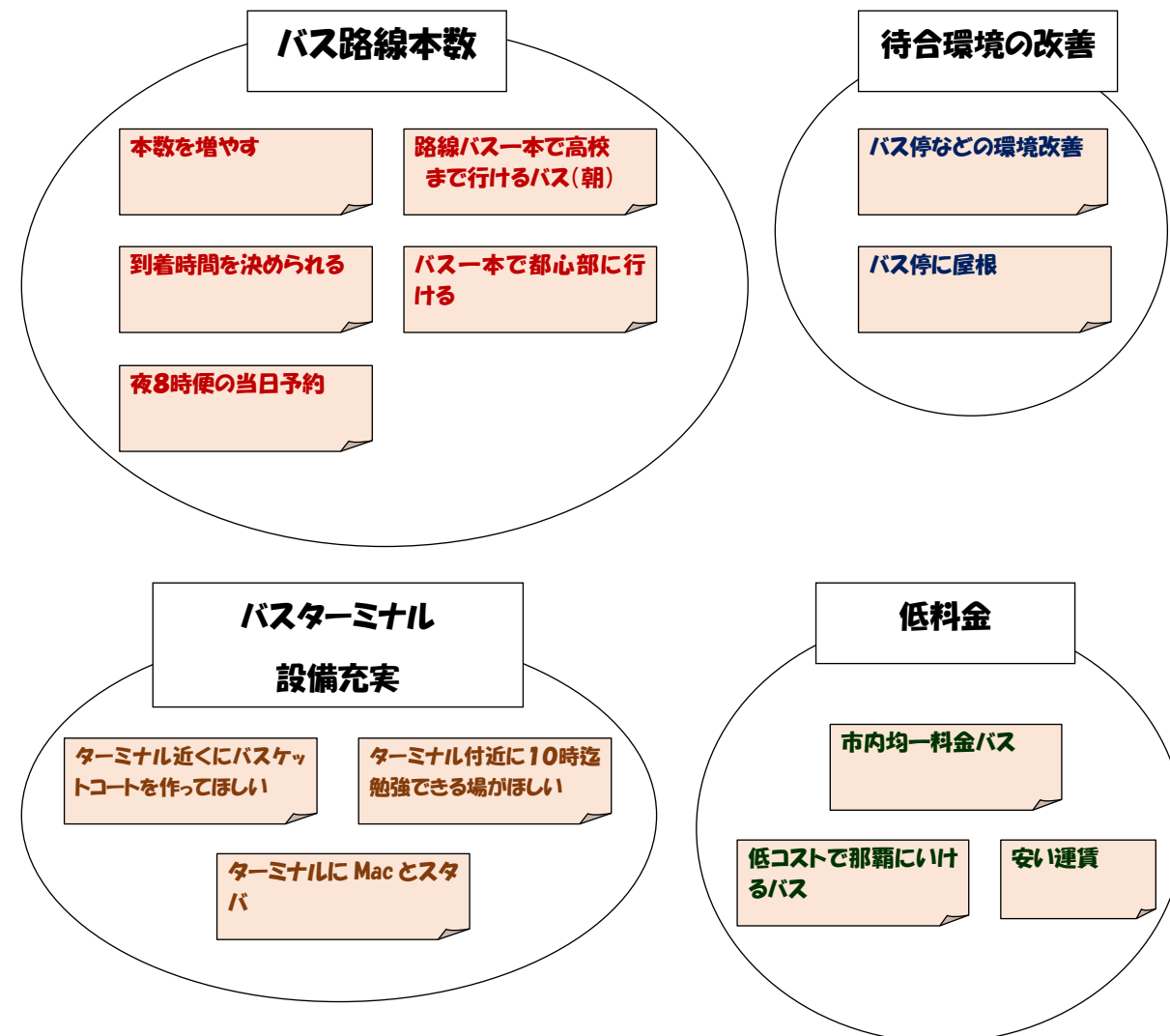
第5班 もりみんグループ

【テーマ】

免許を持たない高校生がどこでも行ける公共交通

取組み一覧

○バスターミナルの設備充実・駅を中心としたまちづくり

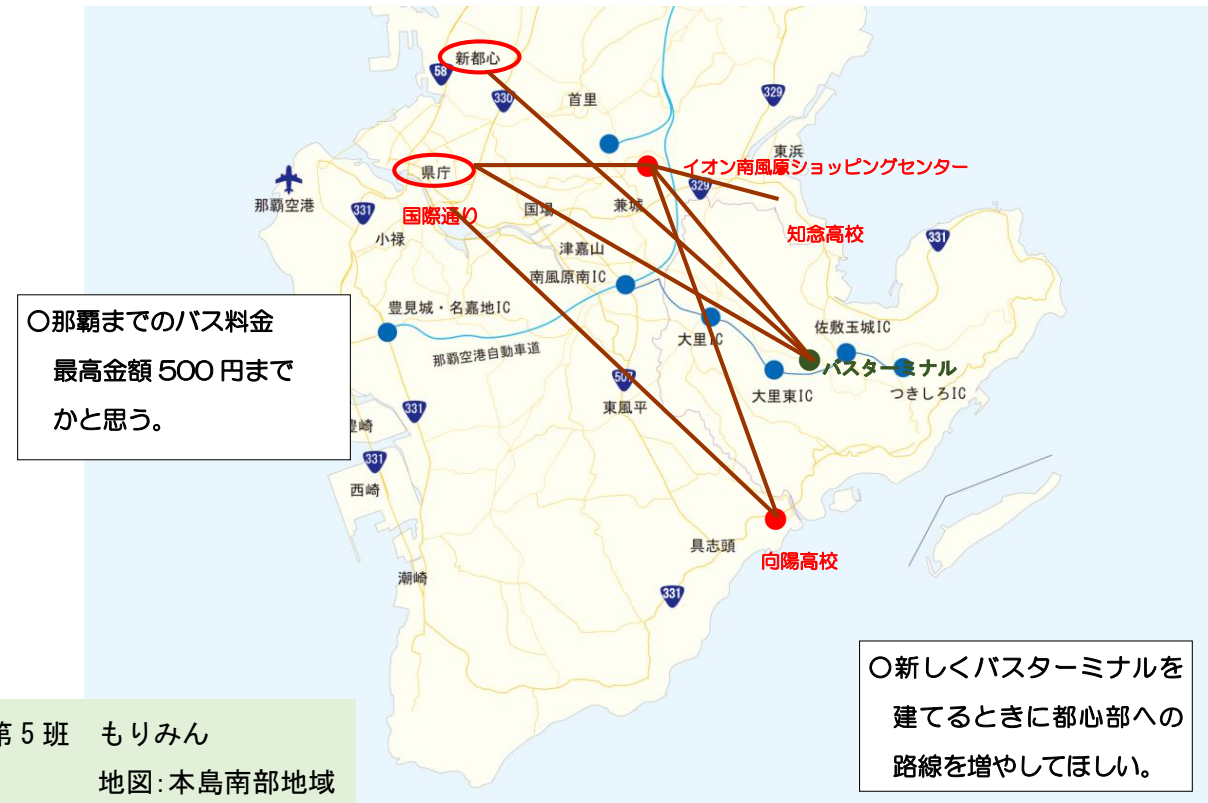


アイデア実現で南城市はこう変わる！！

小さい子どもでも自分で考え、自由に行動できるようになる

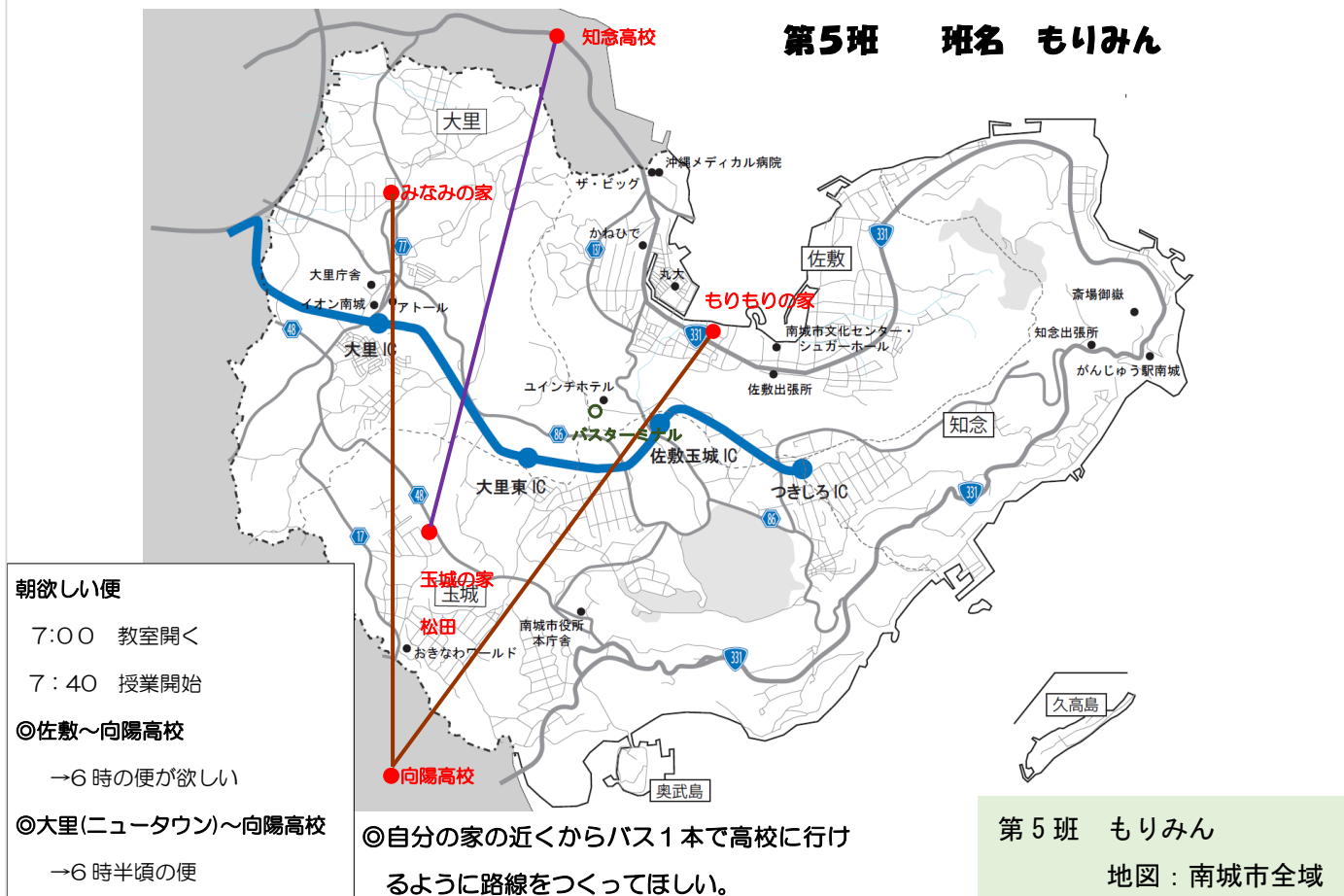
第5班 もりみん
取り纏め模造紙

第5班 班名 もりみん



第5班 もりみん
地図：本島南部地域

第5班 班名 もりみん



朝欲しい便
7:00 教室開く
7:40 授業開始
◎佐敷～向陽高校
→6時の便が欲しい
◎大里(ニュータウン)～向陽高校
→6時半頃の便

第5班 もりみん
地図：南城市全域

図-7.南城市公共交通アイデアマップ(4班)

3.4 (参加者の感想等)

- 第4回ワークショップ後のアンケートで、「WSの提案や要望」や「感想」等が寄せられました。

WSへの提案・要望

- WSの結果がどのように活用されたか教えてほしい。
- 人の動きとかの資料、人口の推移（地区ごとの）、学校の位置、病院（大きな）の位置等がマップにあれば良かったと思う。ルートが変わっていたと思う。このワークショップが大きく影響されるのかは分からないが、このワークショップだけに頼った意見だけで決定されるものがあるのは、ちょっとどうなのかとも思う。
- どこに人が集まっているのか、道路の交通量がどの程度なのかを説明頂けると、もっと良かったかと感じました。
- 海拔100m（市所）、その下40m、高低差60m、新庁舎は避難地として活用できる。また、遊覧バスのようにただ、定時速達性にこだわるだけではなく、南城市らしさや南城市の自然を観光客に見せることができたら・・・と夢みさせてもらいました。

感想等

- 今回のワークショップが活かされ、市民の生活の支えになることを！
- 南城市の発展の為に、みんなで考えたと思います。
- 市民全員が満足する交通網は難しいが、より便利な街となるよう頑張ってもらいたい。市民で考える機会があり、よいワークショップであったと思う。
- グループでのワークショップが、どの様に実現するのかまずは楽しみにしています。南城市民の為、南城市発展に今回の討議の実現を。祈っています。
- スタッフやグループの方々には、良く話してくれ良かったと思いました。
- 自分の住む地域について、こんなに深くまで考えたことが今まで無かったので、とても良い経験になった。市民の声をこんなに聞いてくれて、とても嬉しかった。
- 今回で4回目、大勢の人と意見交換ができ、情報を得ることができました。本当にまめに連絡して下さり感謝です。300円×2のなんじいに乗るきっかけもでき、ラッキーでした。楽しい勉強会でした。ありがとうございました。